

毎日の生活を支える仕事に密着 ごみの収集レポート

ごみの収集は、まちの環境を維持するために欠かせない業務。私たちは誇りを持って日々、仕事に当たっています。

ここでは、みなさんが集積所に出した燃やすごみが、どのように収集されているのかを紹介します。



にしおおえだ
清掃事務所 西大條さん

清掃事務所(松が丘1-6-3)
☎(3387)5353 FAX(3387)5389

4 埋立処分場へ

焼却後の灰は、セメント原料など可能な限り資源として利用。それ以外は、東京港にある処分場へ運び埋め立てます。新しい処分場を作ることは困難なため、できるだけ長く使えるよう、ごみを減らす必要があります。

埋立処分場はあと50年程でいっぱい。ごみ減量に協力を



東京港

1 出発前

午前7時40分、班ごとにミーティングで業務内容を確認後、腰痛予防の体操を入念に。8時、清掃車に乗り込み担当の地域へ出発。



2 収集

区内は狭い道が多いので、小型の清掃車が活躍。それでも入れない場所は、私たちが直接、運び出します。



3 清掃工場へ

満載になった清掃車のごみは、練馬など近隣区の清掃工場へ運び焼却。
☆焼却等は23区共同で処理(区内に所在する工場はなし)



2人一組で1日に6台分収集。令和元年度の燃やすごみの量は約5.4万t

こんなことも

布団や毛布を「燃やすごみ」で出すと、焼却炉に絡まり故障の原因に。修理のため炉を止めると、再稼働に数百~数千円もの費用が掛かると言われています

昨年春の最初の緊急事態宣言発令時は、近年では類を見ないほどごみの量が多く大変でしたが、みなさんからの感謝の手紙を励みに頑張れました。今後は、安否確認を兼ねた声掛け訪問収集や「ごみのんカー(車内が見える清掃車)」を使った環境学習などを更に充実させたいです。



▲みなさんからいただいたメッセージの一部



▲中野区ごみ減量キャラクター「ごみのん」のアイコンが目印



分別ルールは「中野区ごみ分別アプリ」で確認できます



▲アプリについて詳しくはこちら

「ごみ分別辞典」の他、「収集日カレンダー」など便利な機能があります。ぜひご利用を



次のページも見てね



◀ルールを守っていないごみは収集せず、警告シールを貼ります

POINT /

ごみ袋をしっかり結ぶ

運ぶ際に袋がほどけてしまうと、ごみが散乱してしまいます。袋の強度にもご注意ください。薄い袋は持っただけで破けてしまうことも



▲散乱したごみは板でかき集めます。収集に時間が掛かり、他の地域の収集が遅れる原因にも

POINT /

ちょっとした心遣いを

焼き鳥の串やバラなどトゲのある植物をそのまま入れていませんか。中身を明記する、新聞紙で包むなどの一手間を加えることで、串が手に刺さる事故等を防げます



こんなことも

串は厚い手袋を貫きます。昨年度の公務災害の申請件数は例年より多い9件。申請に至らないけれども多くあります

POINT /

ごみ出しポイント

POINT /

朝8時までに集積所へ

渋滞や工事などにより、収集時間やルートは変わります。確実に収集されるためにはごみ出しの時間を守ることが大切



POINT /

ごみ袋の空気を抜く

積み込み時に破裂し、中身が飛散するのを防ぎます。まちの景観を守るためだけでなく、感染症の拡大防止のためにもご協力を

こんなことも

破裂した袋から薬品が飛散し、足に熱傷を負った職員もいました